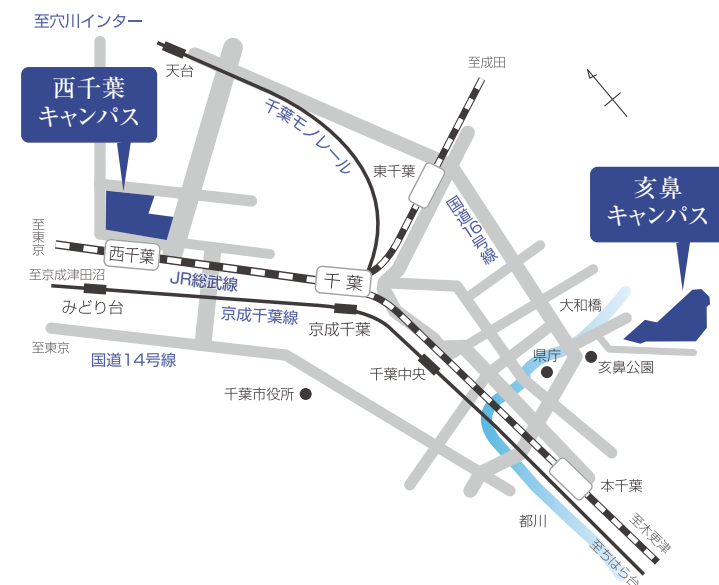




交通アクセス

〔西千葉キャンパス〕**普遍教育科目履修**

JR総武線 西千葉駅 北口より徒歩2分(キャンパス南門)

京成千葉線 みどり台駅より徒歩7分(キャンパス正門)

〔亥鼻キャンパス〕**専門教育科目履修**

JR総武線千葉駅東口7番バス乗り場より「大学病院」または「大学病院・南矢作」行きのバスに乗りし、「千葉大看護学部入口」下車



Chiba University School of Nursing

千葉大学 看護学部

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1 TEL.043-226-2381(看護学部学務係)

URL <https://www.n.chiba-u.jp/>

千葉大 看護

検索



CHIBA UNIVERSITY



School of Nursing



School of Nursing
Chiba University
50th Anniversary



Chiba University School of Nursing

2026

国立大学法人千葉大学看護学部



つねに、より高きものをめざして

ディプロマ・ポリシー〈学位授与の方針〉

千葉大学看護学部は、「つねに、より高きものをめざして」の本学の理念のもと、
以下を修得した学生に対して、学位を授与します。

自由・自立の 精神

自己の課題を明確化し、
自己の成長に向けて、主体的に
学ぶことができる。また倫理の
基本をふまえて意思決定を行い、
高い倫理性をもって行動すること
ができる。

地球規模的な 視点からの 社会との かわりあい

看護専門領域の社会的、文化的
位置づけ、価値を理解し、自己の
専門的能力を地球社会と地域社会
の持続可能でインクルーシブな
発展のために役立てることができる。

基本的な人権を擁護し、社会の
多様性・グローバル化を考慮し、
看護実践と研究の往還によって、
看護学の知と技を、人々の安寧と
健康に資するよう社会に実装する
ことに積極的に取り組むことができる。

普遍的な 教養

グローバル化・情報化した現代
社会ならびに自己の専門領域を
幅広い視野から理解できる。また
文理横断的・異分野融合的な知見
や思考法を獲得し、それらを自ら
活用して現状および課題を認識し、
その解決に向けて的確な判断力
をもって取り組むことができる。

専門的な 知識・技術・ 技能

看護学及びその関連知識を体系的
に修得し、様々な健康状態にある
人の問題解決のための実践力を
身に付ける。また看護学領域にお
ける課題を明確化し、科学的な
方法を用いて、問題解決と新たな
看護実践の創出に資することができる。

高い 問題解決能力

看護に関わる問題を解決するため
に、必要な情報を自ら系統的に
収集・分析し、それらを総合的に
活用できる。また専門的語学力
およびコミュニケーション技術を
主体的に修得し、これを駆使して、
他者と連携・協働しながら問題
解決に取り組み、解決の方向性を
提案することができる。

ごあいさつ Greetings



50年先に続く看護学を学び、拓く

千葉大学看護学部は2025年（令和7年）4月に創立50年を迎えました。千葉大学看護学部は、国立大学唯一の看護学部として設立された当初より、科学的根拠に基づき、看護学の視点から自ら考え、行動できるナース・サイエンティストの育成を目指してきました。

看護の対象は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会です。その対象が健康な状態であるとはどのようなことか、医療機関や自宅、地域でよりよく生きるとはどのようなことか、生まれてから生涯を終えるまでその人の持てる力を最大限いかすために看護専門職者ができることは何か、その正解は1つではないでしょう。多様で複雑な健康課題は難解であり、同じような状況においても以前の方法では解決が困難なことがあるかもしれません。だからこそ、千葉大学看護学部で学ぶ学生には、生命を尊ぶ感性、専門的知識と技術を駆使しながら対象とともに課題解決するプロセスを重視する姿勢、多職種連携に関する学びを深め自らの考えを柔軟に発展させる力を徹底的に追究してほしいと考えています。また、千葉大学では全員留学を推奨しています。総合大学で学ぶ強みをいかし、他学問領域の知見やグローバルな視野を拡げ、解決が困難と思われることにも果敢に挑戦してほしいと願っています。

千葉大学看護学部の卒業生は、看護師、保健師、助産師としての活躍に加え、大学の教育研究者、省庁の行政機関の看護専門職者など、幅広く社会に貢献しています。人は生きていく限り、健康そして病とともに人生を歩む存在です。看護の対象のみならず、自分自身や身近な家族が健やかに生きることを実現する智慧にもつなげつつ、50年先に続く看護学を千葉大学で学び、さらには学生自身が未来の看護学を創造し続けることを大いに期待しています。

看護学部長・看護学研究科長

増島 麻里子

Contents

ごあいさつ	3
千葉大学看護学部の特徴	4
カリキュラム	6
特色ある教育プログラム	8
在学生からのメッセージ	10
卒業生からのメッセージ	12
教員からのメッセージ	13
卒業後の進路	14
大学院看護学研究科	16
キャンパスライフ	18
サポート	20
入試案内	22

千葉大学看護学部の特徴 Features

世界中の人々の生老病死にふれるところで、いつも看護が必要とされています。
千葉大学看護学部は、多様な人々との連携・協働の中で、
看護実践の根拠や看護専門職としての役割を明確に示しながら社会の要請に積極的に応え、
人類の健康・福祉に主体的に貢献できるナース・サイエンティストの育成を目指します。



千葉大学看護学部 6つの特色

1

Multi-faculty University 総合大学としての強み

総合大学の中の「看護学部」であり、
専門性と学際性をともに高めることができます。

2

Tradition and Leadership 伝統と先導

長い歴史と伝統を持ちながら、
常に先導的な役割を果たしています。

3

Graduate School 大学院との連動

カリキュラムは、看護学研究者や高度看護実践者を
育成する大学院に連動しています。

4

Collaboration 亥鼻キャンパス3学部の協働

専門職連携教育研究センターを設置し、看護学部・医学部・
薬学部における専門職連携教育、卒後の継続教育に
おける協働学習の展開と共同研究を推進しています。

5

Practice and Research 看護学教育研究共同利用拠点

看護実践・教育・研究共創センターを設置し、
全国の看護系大学および地域の関連施設の機能の充実・発展を
めざしています。

6

Network 卒業生・修了生との絆

卒業生・修了生を通して全国の看護系大学や医療・介護機関と
ネットワークを持っています。



看護学部のロゴマークは、昼夜を問わない看護を示すランプの灯りをモチーフに、
温もりを感じさせる赤を基調としたマークです。

ロゴマークの元となった 創立記念メダル



看護の仕事は 太陽の沈んだのちも 灯の光をたよりにつけられる
今ここに 健康の守り手の歩みを 力強くすすめるための礎が
亥鼻の地に据えられた 千葉大学の校章のもと 県花・菜の花にかこまれて
八番目の星として またたかんとする看護学部
灯の絶ゆることなく さらに明々と 燃えさからんことを希いつつ……

(創立記念メダル葉より)



カリキュラム The Curriculum



カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

「自由・自立の精神」を堅持するために

- 専門領域での問題に関して、社会の要求を踏まえた問題解決を自ら実践できる学修機会を提供する。
- 生命生存の本質的理解を基盤に自己の倫理観を点検し、倫理的な意思決定のプロセスを理解し、高い倫理性をもって行動できる能力を涵養する。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

- 看護学の知と技を、人々の安寧と健康に資するよう社会に実装することに積極的に取り組める人材、すなわち、革進力を備えた人材を育成するために、地球規模的な視点で、看護活動を行なう価値を探索し、その方法を修得できるよう教育課程を編成し、留学をはじめとする学修機会を提供する。
- 学内外で継続的な学修を促進するために、情報通信技術を活用した学修基盤を提供する。
- 個人、家族、集団、地域の多様な価値を多角的に理解し、対象の立場を尊重し、擁護する行動や態度を涵養する。

「普遍的な教養」を涵養するために

- グローバル化・情報化した現代社会を理解するために必要な技能や知識を修得できるよう教育課程を編成し、学修機会を提供する。
- 看護学の領域を幅広い視野をもって位置づけるために必要な文理横断的・異分野融合的な知見や思考法を獲得できるよう教育課程を編成し、学修機会を提供する。

「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

- 看護の対象者である人間を統一体として理解し、看護学およびその関連知識・技術を順序性、体系性を持って習得できるよう教育課程を編成し、学修機会を提供する。
- 対象に生じている現象に関心を寄せ、必要な知識・資源・研究成果を獲得・収集し、これらを活用して積極的に問題の解決に取り組んで、社会に貢献しようとする姿勢を涵養する。
- 看護研究の必要性和意義を理解し、研究を行い、その成果に基づいて新たな看護実践を創出するための基本的知識を習得できるよう教育課程を編成し、学修機会を提供する。
- 実践と研究の往還を目指し、連携協働する人々の立場や専門性を理解し、共に目指す目標を共有し目標達成に向け、自らが果たす役割を見出し、その役割を主体的に果たすことができる人材を育成する学習機会を提供する。

「高い問題解決能力」を育成するために

- 活用可能な知識や技術を産出できる研究の基礎的能力を育成し、看護実践と研究の往還によって、人類の健康と福祉、看護学の発展に寄与することに価値を置く人材を育成するために、現代社会における看護に関わる問題を多面的・学術的に理解し、問題を解決するために必要な情報やデータを自ら系統的に収集・分析し、それらを適切に活用・発信する方法を修得できる学修機会を提供する。
- 看護学領域に関連する英語を中心とした語学力およびコミュニケーション技術を修得して、他職種や市民と連携・協働しながら問題解決に取り組める能力を涵養する。

「学修成果の厳格な評価」のために

- 学修成果については、事前にシラバス等で提示する各授業目標への到達度によって、厳格かつ公正な評価を行う。また、成績評価を透明かつ公平に行うためGPA制度を採用するとともに、事前・事後学修の明示により、単位の実質化をはかる。
- 講義科目では、試験、レポート、リアクションペーパー等でその達成度を評価する。
- 実習・演習科目では、レポート、試験、発表内容、実技等でその達成度を評価する。

カリキュラムの構成と特徴

千葉大学看護学部では、豊かな人間性を養うための一般教養と、看護学の基礎となる人間のからだや生活、保健医療のしくみ、専門的実践的な看護学を4年間でバランスよく学んでいきます。

カリキュラムは一般教養を身につけるための「普遍教育科目」、看護学の基礎となるからだや生活、保健医療のしくみを学ぶ「専門基礎科目」、専門的実践的な看護学を学ぶ「専門科目」で構成されています。また、研究に関連する科目が各年次にあり、4年生で卒業研究を行うために必要な基礎的な能力を1年生から積み上げていきます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
普 遍 教育科目	国際発展科目群、地域発展科目群、学術発展科目群			
専 門 教育科目	専門基礎科目		専門科目	
	看護の革進Ⅰ(入門)、看護学原論、形態機能学Ⅰ、連携協働実践Ⅰ、看護実践と研究Ⅰ、人々の生活と健康Ⅰ(多様性の理解)、形態機能学Ⅱ、健康セルフマネジメント演習、形態機能学Ⅲ、感染看護学(微生物学・免疫学)、病態生理学Ⅰ(病理学総論)、代謝栄養学(生化学・栄養学)、生活者との交流実習、薬理学、病態生理学Ⅱ(病理学各論)、連携協働実践Ⅱ など		看護技術論Ⅰ、看護技術論Ⅱ、家族看護学、疫学・保健統計学Ⅰ、連携協働実践Ⅲ、Global Health and NursingⅠ、コミュニケーション英語、疫学・保健統計学Ⅱ、看護の革進Ⅱ(自己教育)、連携協働実践Ⅳ、Global Health and NursingⅡ、看護の革進Ⅲ(拡大) など	
研 究	看護実践と研究Ⅰ	看護実践と研究Ⅱ	看護実践と研究Ⅲ	看護実践と研究Ⅳ (卒業研究)
実 習	実 習			

※各学年、第3ターム(8月～9月)ならびに、第6ターム(2月～3月)は国際的・文化的能力の向上を目指し、留学等を推奨する期間と位置付けています。

実習の流れ

看護学の専門科目を学びながら、学内演習や臨地実習を通して看護実践能力を磨いていきます。実習は、少人数のグループにわかれ、医学部附属病院をはじめ、保健所や介護老人保健施設等の各種施設で行います。

1年次	2年次	3年次	4年次
生活者との交流実習 地域で生活する様々な人々との交流を通して、看護への関心を高めます。	看護基盤実習(8～9月) 病院に入院している患者さんをひとり受け持ち、患者さんの看護の必要性を判断し、それにもとづいて看護を提供するという「看護過程」を学びます。	訪問看護実習(6～7月) 訪問看護師とともに療養者が暮らす場所へ訪問することを通して、生活の場における看護について学びます。	コア実習(10～6月) 育成期看護コア実習 出産後の母親と赤ちゃん、病気をもち入院している子どもへの看護援助を実践する能力を養います。 成熟期看護コア実習 手術を受ける患者さんや慢性疾患をもつ入院患者さん、高齢者ケア施設に入所している方への看護援助を実践する能力を養います。 地域生活支援コア実習 精神疾患をもつ患者さんを受け持ち、看護援助を実践する能力を養います。保健師が行っている家庭訪問等に参加し、地域で暮らす住民への看護援助を実践する能力を養います。
			統合実習(6～7月) 学生各自が関心のある領域を選び、チームアプローチを含めて総合的な看護実践能力を養います。
			看護マネジメント実習 看護マネジメントの実態の見聞を通して、質の高い看護サービスを提供するためのしくみを創造する能力を養います。
			助産実習※ 妊産婦を受け持ち、助産と産後の母子に対する看護実践能力を養います。 ※履修条件と人数制限があります。



特色ある教育プログラム Special Programs

亥鼻IPE:専門職連携教育 (Interprofessional Education:IPE)

医療は複数の専門職の連携により提供される組織的サービスです。患者・サービス利用者中心の医療を実現するためには、様々な専門職同士が連携しながら専門性を発揮する能力が不可欠です。千葉大学では、看護学部、医学部、薬学部と合同で、ともに学び合う亥鼻IPE (Interprofessional education:専門職連携教育)を行っています。2017年度からはSTEP1に工学部 (医工学コース)も加わりました。亥鼻IPEを通して、「コミュニケーション能力」、「倫理的感受性」、「問題解決能力」を育成し、さらに具体的な「専門職連携実践を行うための能力」を育成します。看護学部では、「連携協働実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の科目が亥鼻IPEの科目になります。

亥鼻IPEは、STEP1からSTEP4まで、学年横上げ型の学習プログラムです。4つのステップすべてが必修科目で、ステップごとに設定したテーマに沿って学習を進めます。グループ学習を中心に、患者さんとの交流体験や病院・施設に勤務されている専門職に直接インタビューしたりなどの、体験学習を重視しています。



専門職連携教育研究センター (通称IPERC)について

看護学研究院附属専門職連携教育研究センター (Interprofessional Education Research Center:IPERC) は、IPEの教育、実践及び研究を発展・進化させていくことを目的としており、看護学部・医学部・薬学部・工学部と連携して、亥鼻IPEの企画運営を行っています。

専門職連携教育研究センターWEBサイト

<https://www.n.chiba-u.jp/iperc/>

専門職連携教育研究センター

検索

1年生 連携協働実践Ⅰ

(STEP1) 共有

「専門職としての態度の基礎として、患者・サービス利用者および他学部の学生とコミュニケーションでできる能力」を身につけます。



2年生 連携協働実践Ⅱ

(STEP2) 創造

「チームメンバーそれぞれの職種の役割・機能を把握し、効果的なチーム・ビルディングができる能力」を身につけます。



2年生 連携協働実践Ⅲ

(STEP3) 解決

「患者・サービス利用者、医療専門職間の対立を理解し、問題解決ができる能力」を身につけます。



3年生 連携協働実践Ⅳ

(STEP4) 統合

「患者・サービス利用者を全人的に評価し、患者・サービス利用者中心の専門職連携によって診療・ケア計画の立案ができる能力」を身につけます。



4年生 統合実習

現場で患者さんを受け持ちながら、専門職連携を実践し学びます。(選択)

国際交流

看護学部・看護学研究科を連動させたアカデミック英語教育プログラム

千葉大学は平成26年度にスーパーグローバル大学創成支援タイプBに採択されました。看護学部でも、専門教育における学術英語力の向上を目指した英語カリキュラムを開発しました。看護学部における学術英語教育の特徴は、保健医療の分野でグローバルに活躍する人材の育成に向け、①言語学と看護学を統合して教授すること、②大学院と学部の一貫した専門研究英語の能力の発達を目指すカリキュラムであること、③地球規模の健康問題への関心、多様性の理解を基盤においたカリキュラムであることです。2020年度より開始した千葉大学ENGINEとともに、新たなプログラムも加わり発展を続けています。

■看護学部の専門英語カリキュラム

看護学部の専門英語カリキュラムは以下の図の通りとなります。2年生は、コミュニケーション英語、英語による講義科目 Global Health and Nursing I を、3年生には、アカデミック英語、そして全学年が受講可能な看護専門英語を組み込みました。また、2年生以上の学年の夏休み・春休み中の短期留学を Global Health and Nursing II としました。さらに、4年生では、卒業研究 (看護実践と研究 IV) を英語で書き、プレゼンテーションする試みも導入しています。

看護学部英語教育全体像

1年生	・ TOEFL受験・普遍教育での英語科目 6単位必修
2年生	・ 看護専門英語 (入門編) 1単位選択 (4年次まで履修可能) ・ 看護専門英語 (チャレンジ編) 1単位選択 (4年次まで履修可能) ・ コミュニケーション英語 1単位選択 ・ Global Health and Nursing I 1単位選択 ・ Global Health and Nursing II (短期留学) 2単位選択
3年生	・ アカデミック英語 1単位選択 ・ Global Health and Nursing II (短期留学) 2単位選択
4年生	・ 看護実践と研究 IV (一部の領域で卒業研究を英語で書き発表する) ・ Global Health and Nursing II (短期留学) 2単位選択 ・ TOEFL受験



看護学部では自由科目「Global Health and Nursing II」として、アラバマ大学 (米国)、シンシナティ大学 (米国)、アルスター大学 (英国)、コンケン大学 (タイ)、ライプツィヒ大学 (ドイツ)、シンビオシス国際大学 (インド) との留学プログラムを実施しています。また、Global IPEでは台北医学大学、国立台湾大学、香港大学の他、大学院生を対象としたリオグランデスール連邦大学 (ブラジル) での教育プログラムも実施しています。



2022年度より、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」の一つとして採択されたグローバル地域ケアIPE+創生人材の育成プログラム (Global & Regional Interprofessional Education Plus Program : GRIP Program) が始まりました。GRIPでは、SDGs3「すべての人に健康と福祉を」を基盤として、どの国・地域であっても、自国でも他の国でも健康関連の課題に他の専門職とともに取り組み、文化的対応能力および文化的謙虚さを基盤として、現場での最適解を導き出すことができる自律した組織人の育成をめざします。全学部・研究科の学生がチームとなって、渡航先の社会課題解決に取り組みます。2022年度はシンビオシス国際大学 (インド) との相互留学を開始し、2023年度よりレスター大学 (英国)、さらに2024年度はモナシュ大学 (オーストラリア) も加わり、学生は国や大学を越えて共に学習します。



〔部局間交流協定校〕

アラバマ大学バーミングハム校看護学研究科
サンディエゴ大学看護学部
コンケン大学看護学部
ソウル国立大学看護学部
復旦大学看護学院
香港大学看護学部
アルスター大学看護学部
大連医科大学看護学部

在学生からのメッセージ

Q1. 千葉大学看護学部に入學を希望した理由を教えてください



国立の総合大学であるため、看護以外のことも学べて多様な視点から物事を考えることができると思った

全員留学制度があり、英語力を高めたり海外の文化を知ることができると思った

教授の研究内容にとっても興味があり、その教授の元で学びたいと思った

国立大学唯一の看護学部であり、全国から志が高い人たちが集まると思った。志が高い人たちに感化されながら自分自身も頑張りたいと思った

医学部や薬学部との合同授業などもあり、多くのことを学べると思った

Q2. これからの学生生活に期待することを教えてください



たくさんの人と大学生活を楽しむ!

看護師のキャリアに様々な道があることを知ったので、今の考え方を变えることも恐れずに勉強をしていきたい

留学プログラムに積極的に参加するとともに、イングリッシュ・ハウス(西千葉の施設)を利用して語学力を上げたい

専門科目はもちろん、普遍教養を通して豊かな人間性を養いつつ、様々な地域から訪れた志の高い仲間と共に、看護学を担っていく医療従事者の一員となれるような学びを深めたい

Q3. 千葉大学看護学部に入學して良かったと思うことを教えてください

優しく考えがしっかりしている学生が多い

図書館やリフレッシュルームがあり、静かに勉強したい時に便利

他学部との交流がある、普遍科目で多様なことが学べる、人間関係が良い

看護の面白さを学ぶことができる

実習先の看護師さんが優しく、実習が充実している

教員や学友は思考力が高く、刺激をもらうことが多い



Q4. 看護学部での専門科目の中で、高校生に紹介したい科目とその理由を教えてください



看護技術論
実際にユニフォームを着て看護技術の演習をするため、看護をより身近に感じることができる

人々の生活と健康
人の発達課題や価値観・家族観に関する知識やコミュニケーション技術も学ぶことができる。医療に関心がある人だけでなく、人間について考えを深めたい方にぜひ紹介したい

Global Health and Nursing II
看護学部独自の留学プログラムが充実しており、看護の学習に直結する内容について学ぶことができる

亥鼻IPE
他学部と関わることで看護以外の視点から医療を見る機会があり、視野を広げる良い機会になる

病態生理学
病態について深い内容を学べる。ほかの看護大ではここまで学べないのでは?

Q5. これまでの学生生活の中で思い出深いエピソードを教えてください



部活に所属し、朝練の後にI限に行ったり、V限の後に部活に参加したりと学業と部活動を両立できたこと

他学部の人達と一緒に留学したことを機に仲良くなり、今でもご飯に行ったり遊んだりしています!

在学中の過ごし方や卒業後の進路について、教員が相談に乗ってくれたり自分のやりたいことを応援してくれたりする温かな環境で勉強できていること



とある学生の1日のスケジュール



1年生

6:00 起床
6:30 大学へ出発
実家から通っているため学校まで1時間半くらいかかります
8:00 大学着
8:50 I限開始
IV限は西千葉キャンパスで受講するため、学食で昼食後、西千葉へ移動します
16:00 IV限終了
また亥鼻キャンパスに戻って18時半頃までテニスコートで部活動
20:00 帰宅
夕食後、講義で出されている課題やレポートに取り組みます
23:00 就寝

3年生

6:00 起床
7:00 大学へ出発
7:45 実習施設に到着
病棟実習
12:00 昼食休憩
14:00 ミーティング
16:00 図書館へ
翌日の実習計画を立てます
19:00 帰宅、自炊で夕食
22:00 就寝

4年生

7:30 起床
8:30 大学へ出発
8:50 卒業研究ゼミ
同じ研究室の学生と教員でディスカッション
12:00 ランチ
お弁当、学食など
13:00 図書館へ
午前中のゼミで課題となったことについて調べます
18:00 20時までサークル活動
21:00 帰宅、読書、自由時間
23:00 就寝



千葉大学で始まった グローバルヘルス貢献への歩み

木下 倫子さん

国連人口基金(UNFPA)
アンゴラ共和国事務局 代表

1993年から1997年まで千葉大学看護学部で過ごした4年間は、これまでのキャリアの中で非常に重要な基盤となっています。

長野県阿智村で18年間過ごした私は、初めての一人暮らしを千葉という都会で始め、不安と期待でいっぱいでした。基礎看護で最初に学んだ「バランスの取れた朝食の大切さ」は、栄養の知識としてだけでなく、生活を整えるうえでも大切な学びとして記憶に残っています。患者さんを包括的にアセスメントする視点も、今なお実践に活かされています。

卒業後は助産師として5年間勤務し、2006年からはユニセフなどの国連機関でさまざまな国に赴任し、活動してきました。現在は国連人口基金に所属し、妊産婦の健康、性教育、暴力予防などの分野に携わり、ボリビアやアンゴラなどで勤務しています。千葉大学での学びは、その後の国際母子保健学や公衆衛生学の学びにもつながっており、今後もグローバルヘルスに貢献していきたいと考えています。

Messages from Graduates

卒業生からの メッセージ



進学の決め手となった 「好きなだけ学べる」環境

小川 義弘さん

千葉大学大学院看護学研究科
大学院生(博士後期課程)

私は千葉大学看護学部を卒業後、千葉大学医学部附属病院精神神経科で看護師として勤務しました。その後、千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程を修了し、現在は博士後期課程に在籍しながら、依存症治療専門のクリニックで看護実践も続けています。

私は、オープンキャンパスで教員や学生から聞いた「好きなだけ学べる」という言葉に惹かれ、進学を決意しました。学部では普遍・専門科目に加え、看護研究の基礎も幅広く学びました。卒業研究では看護におけるAI活用をテーマに取り組み、その成果を国際学会で発表する機会にも恵まれました。

卒業後は、看護師が直面する課題をAIで解決したいという思いが強まり、大学院に進学しました。博士前期課程では、看護師の困難感の解決に向けた生成AIの活用について研究し、現在はその支援モデルの開発に取り組んでいます。

皆さんと共に学べることを楽しみにしています。



看護学部での学びが 地域を支える力に

長山 莉久里さん

神奈川県
小田原保健福祉事務所
技師(保健師)

私は、千葉大学看護学部を卒業し、千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程を修了した後、神奈川県に入庁しました。現在は、保健所保健師として難病や感染症等に関する支援を行っています。

看護学部では、基本的な知識・技術はもちろんのこと、看護とはなにか、看護専門職としてどうあるべきかを学び、看護職としての基礎固めができました。保健師として地域で働くなかでは、多機関・多職種と連携する機会が多くあります。その際には、看護学部での学びから、保健師として何ができるか、どんな役割を果たすべきかを考え、より良い連携・協働につなげています。

また、尊敬できる看護学部の同窓生と多く知り合えることも、魅力のひとつです。学会や勉強会などの機会です再会した同窓生の話を聞くことは、自己研鑽を続けていくための励みとなっています。



未来の自分を 思い描こう

健康増進看護学講座
教授 前原 邦江先生

社会環境の急速な変化に伴い、看護の役割と重要性は一層拡大しています。千葉大学看護学部は、人々の健康とウェルビーイングの向上に貢献するナース・サイエンティストの育成に力を入れています。50年の歴史を通して看護学の知を創出・蓄積し、多くの卒業生が実践・研究・教育・行政・国際協力などの多方面で活躍しています。

教員として私は、学生たちが、いのちの輝きやその人らしい生き様に触れる貴重な体験を通して「看護とは何か」を問い、考え抜くことで、大きく成長していく姿を目の当たりにしています。看護学を探究し創造していくことは、決して平坦な道のりではないかもしれませんが、真摯な覚悟と確かな志をもって挑戦する皆さんを、私たちは応援します。

千葉大学には多様な専門分野の教員が揃っており、国内外の仲間たちと専門分野を超えて互いに学び合う環境があります。4年間の学生生活の中で、未来の自分を思い描いてみませんか。



看護の今と未来を、 ここから一緒に

文化看護学講座
講師 飛世 真理子先生

医療を取り巻く環境は、社会構造や生活様式の変化、国際的な健康課題の広がりなどにより、ますます複雑化しています。こうした中で、人が本来もつ回復力を支え、心と身体の両側面に働きかける看護の専門性と実践力は、これまで以上に求められています。

私は20年間の臨床経験を基盤に、基礎看護学や看護教育学の研究を行い、現在は感染予防行動の分析や、医療環境中に存在する微粒子を可視化する実験的研究に取り組んでいます。教育と研究の両面から看護の質を高め、実践に結びつく知の探究を進めています。

千葉大学看護学部では、講義・演習・実習に加え、研究活動や学際的な学びを通じて、知識と技術を結びつけながら学びを深めることができます。学生は多様な視点を養い、自ら課題を見だし、主体的に行動できる看護専門職として成長していきます。

千葉大学看護学部で、あなたも看護の本質を探究し、未来の医療と社会に貢献する力をともに育んでいきましょう。

Message from the Faculty

教員からの メッセージ



看護学の すばらしさを 体感できる世界へようこそ!

地域創成看護学講座
教授 石橋 みゆき先生

看護学は、人をケアするという普遍的な行動を科学する学問です。それは、人の命を守ること、健康の側面から生活を支えること、また、それらのよりよい方法を探究することでもあります。しかしながら、その探究は、一人一人の心身の状態、環境の影響、文化的背景などが複雑に絡み合っているため、一様ではありません。この多様性が、看護の面白さであり、複雑性でもあると思います。

千葉大学看護学部は、2025年で開学50周年を迎えます。この50年の間、人々を取り巻く環境は大きく変化し、老人看護学、訪問看護学、エンドオブライフケア看護学や災害看護学等の新領域が誕生しました。看護学部は未来社会を見据え、常により高きものを目指し、看護学を基盤に、学際的視点をもって看護学を探究できる人材を多く輩出しています。

皆さんが千葉大学看護学部で学び、ナースサイエンティストとして様々な場で活躍し、看護学のすばらしさを次世代に伝承していくことを楽しみにしています。



専門職に不可欠な力である “主体的に学ぶ力”を培う

専門職育成学講座
助教 植田 満美子先生

看護職は、人間の一生に関わる専門職であり、医療機関に限らず、地域社会で暮らすすべての人々の健康と生活を支える重要な役割を担っています。現代社会は急速に変化しており、看護が必要とされる場や役割も多様化しています。こうした社会の中で看護職としての使命を果たすためには、必要な知識や技術を自ら見極め、主体的に学ぶ力が不可欠です。

千葉大学は11学部を擁する総合大学であり、幅広い学問に触れることができます。また、看護学部には、国家試験受験資格取得のための科目に加え、「看護とは何か」や「看護職の専門性とは何か」といった問いに向き合う学びの機会もあります。

このように、学問全体の中での位置づけや他学問との関連性を考えながら、看護学を広く深く探究できる環境が整っていることが千葉大学看護学部の大きな魅力です。この環境で正解のない問いに向き合う経験を通して、きっと、看護職に不可欠な力である“主体的に学ぶ力”を培うことができるでしょう。

看護職を志す皆さまと亥鼻キャンパスでお会いできる日を楽しみにしています!

卒業後の進路

After Graduation

千葉大学看護学部では、卒業時に学生全員が国家試験に合格することを目指して取り組んでいます。
卒業後は、看護師として病院に勤める人が約65%、保健師として保健所・市町村などに勤める人が約13%、
残りの約22%の人は助産師として産院・病院へ就職、あるいは大学院へ進学しています。



取得できる学位・資格・国家試験受験状況

卒業に必要な所定の124単位を修得した者に対して

学位 学士(看護学)

国家試験受験資格 看護師・保健師・助産師※

看護師と保健師の受験資格を同時に取得可能

2011年に「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」の一部が改正されたことにより、看護師の国家試験受験資格と同時に、保健師や助産師の国家試験受験資格を取得できる教育機関が激減しました。千葉大学看護学部では、看護師、保健師、助産師※の教育を4年間で統合して行う統合カリキュラムを実施しており、卒業時に複数の国家試験の受験資格を得ることが可能です。

※助産師の国家試験受験資格を得るには助産関連科目を履修する必要がありますが、一部の助産関連科目の履修には人数制限ならびに履修条件があるため、全員が助産師国家試験の受験資格を得ることはできません。

国家試験受験状況
過去2年の実績



保健師	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率(%)	
			本学	全国
令和6年度	75	75	100	96.4
令和5年度	74	73	98.6	97.7
助産師	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率(%)	
			本学	全国
令和6年度	4	4	100	99.3
令和5年度	5	5	100	99.3
看護師	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率(%)	
			本学	全国
令和6年度	75	74	98.7	95.9
令和5年度	76	75	98.7	93.2

主な就職先・進学先

主な就職先・進学先

■看護師

- ・千葉大学医学部附属病院
- ・東京大学医学部附属病院
- ・東京科学大学病院(旧:東京医科歯科大学)
- ・信州大学医学部附属病院
- ・富山大学附属病院
- ・国立がん研究センター中央病院
- ・国立がん研究センター東病院
- ・国立成育医療研究センター
- ・千葉県こども病院
- ・福岡市立こども病院
- ・日本医科大学付属病院
- ・横浜市立みなと赤十字病院
- ・公益財団法人がん研究会有明病院
- ・聖路加国際病院
- ・慶應義塾大学病院
- ・順天堂大学医学部附属浦安病院
- ・東北医科薬科大学病院
- ・成田赤十字病院
- ・埼玉医科大学病院
- ・NTT東日本関東病院
- ・自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・武蔵野赤十字病院

■助産師

- ・千葉大学医学部附属病院
- ・東京大学医学部附属病院
- ・東京かつしか赤十字母子医療センター

■保健師

- ・目黒区東部包括支援センター
(社会福祉法人 奉優会)
- ・沼津市 ・静岡市 ・世田谷区 ・川崎市

■主な進学先

- ・千葉大学大学院看護学研究科
- ・聖路加国際大学大学院
- ・東京都立大学助産学専攻科
- ・茨城県立医療大学助産学専攻科
- ・山梨県立大学助産学専攻科

看護学部卒業生の進路状況

	就職者					進学者						その他	合計
	看護師	保健師	助産師	その他	計	千葉大学大学院	他大学	助産学校	別科専攻科	研究生	計		
令和6年度	58	5	4	1	68	2	1	0	4	0	7	0	75
令和5年度	49	10	5	0	64	4	1	1	5	0	11	1	76

千葉大学医学部附属病院について

千葉大学医学部附属病院では、たくさんの卒業生が看護師・助産師として活躍しています。また、在学中は同院での臨地実習を通して、心のこもった看護と先進医療を支える看護技術を学びます。



手術室看護師、
腎移植レシピエント
移植コーディネーター
阿部 史織さん

附属病院での様々な経験

私は、大学卒業後に附属病院に就職して外科病棟で勤務後、現在は手術室で勤務しています。
外科病棟では、患者さんの持てる力を引き出す看護ができるよう、先輩方や同僚と協力しながら患者さんに寄り添い、回復過程を一緒にサポートできることにやりがいを感じていました。手術室では、手術看護を通じて様々な分野や疾患について学びながら、病棟とは異なる新たな経験ができています。また、外科病棟勤務中に腎移植医療と関わり、現在はレシピエント移植コーディネーターとしての活動もしています。腎移植患者さんに寄り添い、術前から入院中、退院後まで継続してサポートすることに魅力を感じています。様々な経験をする中で、大学時代に得られた学びや人とのつながりに支えられながら看護師としても成長できていると感じています。皆様の大学生活も充実したものになることを祈っています。



内科系病棟看護師長
長谷川 智子さん

問い続ける力が、看護を育てる

千葉大学看護学部での学びは、私の20年以上にわたる看護師としての考え方の基本となっています。様々な授業や実習を通して培った「看護とは?それは看護か?」を問い続ける姿勢は、内科・外科・教育部門と多岐にわたる臨床現場での判断力や柔軟な対応力として活かされてきました。

現在は看護師長として、スタッフが悩んだり迷ったりしているときには一緒に立ち止まってどんな看護がしたいのかを考える時間を持てるようにしています。その中で、スタッフが少しずつ成長していく様子を見るととてもうれしくやりがいにつながります。今後も学び続ける文化の中で、自ら考え行動できる看護師を育てていきたいと思っています。皆さんも深い学びを通じて、自分らしい看護を築いてください。

大学院看護学研究科

Graduate School of Nursing

看護学研究科は、看護学の学術的基盤の充実・発展に寄与できる教育・研究者、研究能力を備えた看護実践者の育成を目指します。



教育課程・特色ある入試と将来像

教育課程

看護研究科 教育課程	取得できる学位
博士前期課程 看護学専攻(2年間) 看護学コース 看護実践学コース 看護管理学プログラム 高度実践看護学プログラム 2021年度新設 特定看護学プログラム	修士(看護学)
博士後期課程 看護学専攻(3年間)	博士(看護学)

特色ある入試と将来像

- ◆看護系大学卒業予定者(ストレート進学者)対象の入試があります
- ◆ストレート進学者の意義や期待
 - ・変容する保健社会の状況に応じて、自ら看護学を生かす開拓・革新力が求められています
 - ・大学院での学びにより研究力を強化し、社会で活躍するキャリアパスが拡がります
 - ・大学院修了後の活躍の場は、医療保健福祉機関に留まらず、研究機関、行政機関、起業等と多様です
- ◆大学院に関する動画やQ&Aはホームページをご覧ください。
<https://www.n.chiba-u.jp/outline/movie.html>

修了後の進路について

大学院修了後の進路には、教育・研究者や専門看護師など、多様な選択肢があります。
具体的な修了後の進路は、以下の通りです。

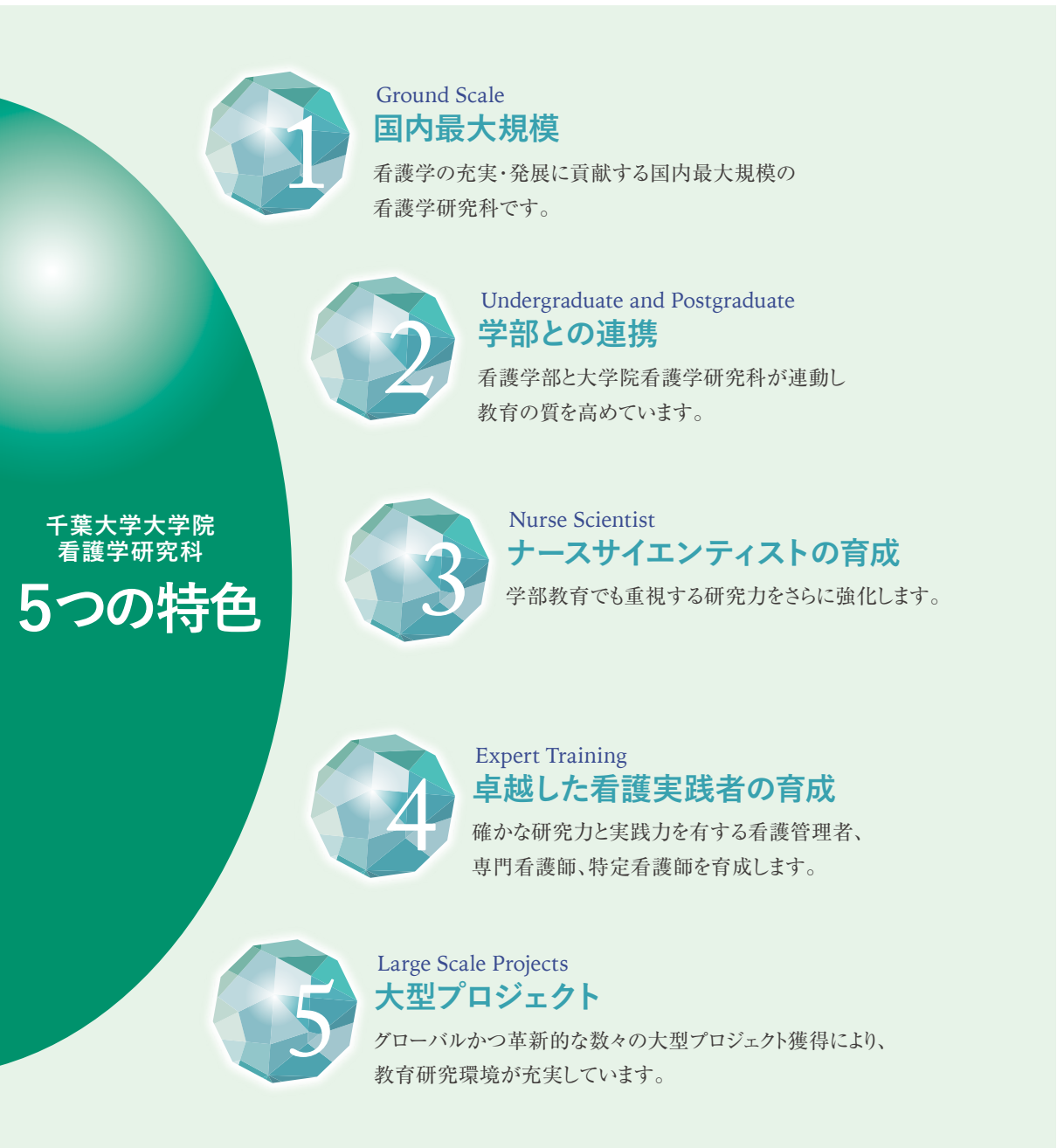
進路状況 (修了時)

博士前期課程修了生

就職者						進学者				その他	合計
保健師	助産師	看護師	教員	その他	計	大学院	他大学	研究生	計		
8	1	20	0	0	29	4	0	0	4	2	35
1	1	24	1	1	28	4	0	0	4	1	33
1	1	11	2	3	18	6	0	0	6	0	24

博士後期課程修了生

教員			看護師	保健師	助産師	その他	合計
国立	公立	私立					
4	1	0	2	0	0	1	8
5	1	5	2	0	0	1	14
5	3	4	0	0	0	1	13



博士前期課程では、全員が共通基盤科目を受講し、研究者として必要な知識・態度を学びます。

キャンパスライフ Campus Life

亥鼻キャンパスには、看護学部をはじめ、医学部、薬学部の3つの学部があります。
充実した施設や設備はもちろん、四季折々の花が咲く自然豊かなキャンパスに身を置くことで、
心身ともに健康な学生生活を送ることができます。

施設・キャンパスマップ



A 看護・医薬系総合教育研究棟

北棟、中棟、南棟の3つの建物からなり、講義室や研究室があります。
各フロアにリフレッシュルームが設置されています。



B 看護学部管理棟

1階には事務室があり、2階から6階には、会議室、実習室や研究室があります。



C 附属図書館亥鼻分館

「ライフサイエンス」に関する専門書が充実した3階建ての図書館。資料閲覧のほか、IT室やレポート課題などの自習スペースとしても利用できます。



D 実習室

看護学部管理棟の3階から5階には、3つの実習室が設置されています。そこでは専門基礎科目の実験・実習や看護技術の演習を行います。



E INOHANA COOP SHOP (大学生協)

亥鼻地区福利厚生施設棟2階には、文具からお菓子まで揃うINOHANA COOP SHOP (大学生協)があります。書籍や雑誌のコーナーもあります。



F いのはな学生食堂

亥鼻地区福利厚生施設棟1階には学生食堂があります。日替わりランチを中心にお手頃な値段で提供しています。



G 医学部附属病院

にし棟、ひがし棟、みなみ棟、中央診療棟、教育研修棟、外来診療棟があります。病院実習で頻繁に通う病院です。



H ゐのはな同窓会館

100名収容の多目的ホールを備える同窓会館です。医学部創立135周年の記念事業として建てられました。もちろん、看護学部の学生も利用できます。



I 医学部附属病院への連絡通路

キャンパスと附属病院を結ぶ連絡通路は、患者さんや一般の人々の散歩道にもなっています。春には満開の桜のアーチが新入生を迎えます。



J 看芸ガーデン

中庭に、看護学部と園芸学部の学生・教員のコラボレーションによるユニークなガーデンが誕生。癒しと健康メッセージを発信しています。

亥鼻地区サークル一覧表

※西千葉地区のサークルにも参加可能です。

体育系サークル (20団体)

医学部看護学部薬学部硬式野球部
亥鼻硬式庭球部
医学部サッカー部
亥鼻男子バスケットボール部
医薬看護女子バスケットボール部
亥鼻卓球部
医薬看護学剣道部
医看軟式庭球部
医学部スキー部
医学部水泳部
亥鼻陸上競技部
医学部弓道部
医薬看護男子バレーボール部
医薬看護女子バレーボール部
医学部ラグビー部
亥鼻バドミントン部
亥鼻空手道部
亥鼻ダンスサークル(IDC)
亥鼻フットサル部
亥鼻マッスルサークル

文科系サークル (6団体)

東洋医学研究会
世界の医療を考える会
亥鼻手話の会
ちばぬいぐるみ病院
C-TAT
亥鼻祭実行委員サークル

音楽系サークル (4団体)

ゐのはな音楽部
亥鼻バンドサークル
亥鼻ぴあの倶楽部
亥鼻ジャズ研究会

看護学部公認団体 (1団体)

チアリーディングサークル舞部(ぶぶ)



住まいの支援

学 生 寮

千葉大学亥鼻地区には、さつき寮(女子;定員43名／家賃4,700～9,800円+公共料金)、雄翔寮(男子;定員60名／家賃4,300円+公共料金)があります。

入寮を希望する方は、千葉大学ホームページに公表される募集要項により申請します。入寮者は、家計支持者の収入基準、住居地基準、その他特別な事情等の基準に基づいて選考し決定します。詳しい情報は、「千葉大学ホームページ(学生寮)」をご参照ください。

学生生活の支援

学 生 相 談

千葉大学看護学部には、学生が大学生活を送るにあたって生じる様々な悩みや問題に対して、教員や専門家によるきめ細やかな支援体制があります。生活上の悩みが生じた時には、各学年のクラス顧問教員に相談したり亥鼻キャンパス内の学生相談室を利用したりできます。また、必要に応じて、西千葉キャンパスの総合安全衛生管理機構に常駐する精神科医やカウンセラーから専門的な支援を受けることも可能です。これらの相談に伴う学生の個人情報やプライバシーは厳重に保護されますので、安心して活用できます。詳しい情報は、「千葉大学ホームページ(学生相談)」をご参照ください。



経済的支援

日 本 学 生 支 援 機 構

日本学生支援機構の奨学金は、日本学生支援機構が、経済的理由で修学が困難な優れた学生が安心して学べるよう「貸与」または「給付」する制度です。

最新情報は日本学生支援機構のHPをご確認ください。



日本学生支援機構ホームページ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

●担当:学務部学生支援課生活支援係 gakushi-shougaku@chiba-u.jp

奨学金の種類	月 額
第一種奨学金 (無利子貸与)	自宅通学者 2万円、3万円、4万5千円から選択
	自宅外通学者 2万円、3万円、4万円、5万1千円から選択
第二種奨学金 (有利子貸与)	2万円～12万円の間で1万円刻みで選択
給付型奨学金	自宅通学者: 第Ⅰ区分 29,200円 第Ⅱ区分 19,500円 第Ⅲ区分 9,800円 第Ⅳ区分 7,300円
	自宅外通学者: 第Ⅰ区分 66,700円 第Ⅱ区分 44,500円 第Ⅲ区分 22,300円 第Ⅳ区分 16,700円 ※区分は家計所得等により決定

民 間 団 体 等 奨 学 金

日本学生支援機構奨学金のほかに、地方公共団体や民間育英団体が実施している奨学金制度により、人物・学業ともに優れ、かつ、経済的理由のため就学困難な場合は奨学金を申請することができます。

各種奨学金に関わる詳しい情報は、「千葉大学ホームページ(奨学金制度)」をご参照ください。



千葉大学ホームページ(奨学金制度)

<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/scholarship.html>

●担当:学務部学生支援課生活支援係 ddd2175@office.chiba-u.jp

学 費 免 除

日本学生支援機構の「給付」奨学生となった方は、併せて千葉大学入学料、授業料が減免されます。制度の概要や支援の対象者等、授業料免除に関わる詳しい情報は、「文部科学省の高等教育の修学支援新制度ホームページ」をご参照ください。



文部科学省ホームページ

<https://www.mext.go.jp/kyufu/student/daigaku.html>

入試案内

Entrance Examinations

千葉大学看護学部は、多様な人々との連携・協働の中で、看護実践の根拠や看護専門職者としての役割を明確に示しながら社会の要請に積極的に応え、人類の健康・福祉に主体的に貢献できるナース・サイエンティストの育成を目指しています。看護学部は次のような資質を有する学生の入学を求めています。

アドミッション・ポリシー〈入学者受入れ方針〉

確かな学力

看護学とその関連知識・技術の修学に必要な基礎学力を持つ人

豊かな感性・主体性

現代社会を生きていく人間として欠くことのできない国際的、倫理的、知的な素養を備え、様々な人々と協力し、主体的に行動できる人

高い志

幅広い問題意識を持ち、人々の健康を支えるという側面から、看護の実践や研究に取り組みたいという意欲を持つ人

入学までに身につけて欲しいこと

人間や世界への関心

看護学は人々の命と健康を支える学問です。世界で起こっている様々な出来事と健康との関連を考え、人間に対して常日頃から関心をもち、様々な考え方に触れてきてください。

自ら調べ解決する習慣

看護専門職者として生涯にわたり学習を継続することが大切です。疑問を持ったことに対して、自ら調べ、それを解決する習慣を身につけてきてください。

自然科学の基礎知識

生命現象を理解するために必要となる自然科学(化学、生物、物理)の基礎知識を備えてきてください。

コミュニケーション能力と語学力

看護は多様な人々と連携・協働する活動です。他者とのコミュニケーション能力と語学力(国語、外国語)を高めてきてください。



令和8年度入学者選抜のご案内

多様な選抜方法

千葉大学看護学部では、一般選抜、社会人選抜において外国語検定試験の成績を利用しています。利用できる外国語検定試験はTOEFL iBT, IELTS, 実用英語技能検定(英検), GTECなどです。詳細については募集要項・公式サイトで確認してください。

一般選抜(前期日程)

試験日程	令和8年2月25日(水)～26日(木)	募集人員	49名
------	---------------------	------	-----

選抜の趣旨

看護学の修得に必要な学力、将来看護の実践・研究・教育の場で活躍するために必要な資質と適性を評価します。大学入学共通テストでは、学力を幅広く評価します。個別学力検査では、自然科学と語学の学力を評価します。面接では、看護学への関心、学習意欲、自分の考えや意見を的確に述べることができる表現力、柔軟な思考力、コミュニケーション能力などを評価します。

選抜方法

- 以下の①から③により総合的に評価します。
- ①大学入学共通テスト〔国語、社会(地理歴史、公民から1科目)、数学(数ⅠA、数ⅡBC)、理科(物理、化学、生物から2科目)、外国語、情報〕の成績
 - ②個別学力検査〔理科(物基・物、化基・化、生基・生から2科目)、外国語(英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ)、面接〕の成績
 - ③調査書の内容

学校推薦型選抜

試験日程	令和7年11月15日(土)	募集人員	24名
------	---------------	------	-----

選抜の趣旨

千葉大学看護学部で学びたいという意欲、将来看護の実践・研究・教育の場で活躍するために必要な資質や適性を評価します。小論文では、課題の内容とその出題意図を読み取る読解力、論理的思考力、創造力、表現力、論文を構成する力などを評価します。面接では、本学で看護学を学ぶ目的、看護学への志向性、自分の考えや意見を的確に述べることができる表現力、柔軟な思考力、コミュニケーション能力などを評価します。また、学力を幅広く評価するため、大学入学共通テストの成績を利用します。

選抜方法

高校での学業成績が優秀で、学校長から推薦のあった者に対して、調査書、推薦書、小論文、面接により総合的に評価し合格内定者を決定します。また、大学入学共通テストで指定する教科・科目の成績(国語、外国語は100点満点に換算、地理歴史・公民、理科、数学は50点満点に換算、情報は20点満点に換算)の総得点が概ね65%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

社会人選抜

試験日程	令和7年11月15日(土)	募集人員	7名
------	---------------	------	----

選抜の趣旨

看護学への学習意欲、将来看護専門職者として、人類の健康・福祉に貢献したいという意思、看護の実践者・研究者・教育者の基盤となる資質、適性を評価します。出願調査では、経歴についての自己評価、志望動機、千葉大学で学びたいこと・活動したいこと、看護専門職者としての将来像の内容から評価します。小論文では、課題の内容とその出題意図を読み取る読解力、論理的思考力、創造力、表現力などを評価します。面接では、質問の意図を理解し応答する力、コミュニケーション能力、看護学の修得に向けた自己の資質を自己評価できる能力、入学の目的と入学後の学習計画や進路設計が明確であるか、卒業後に看護学への貢献が期待できるかなどを評価します。

選抜方法

大学入学資格を有し、令和8年4月1日現在において満25歳以上の者で出願時に社会人として4年以上の職業経験を有する者に対して、大学入学共通テストを免除し、小論文、英語[※]、面接及び出願調査の内容により総合的に評価します。
[※]英語については、提出された英語スコア証明書の成績を利用します。

令和7年度入試実績

試験区分	募集人員	志願者		受験者		合格者数	入学者数
		人数	倍率	人数	倍率		
一般選抜(前期日程)	49	191	3.9	166	3.4	60	57
学校推薦型選抜	24	63	2.6	63	2.6	21	21
社会人選抜	7	2	0.3	2	0.3	2	2